

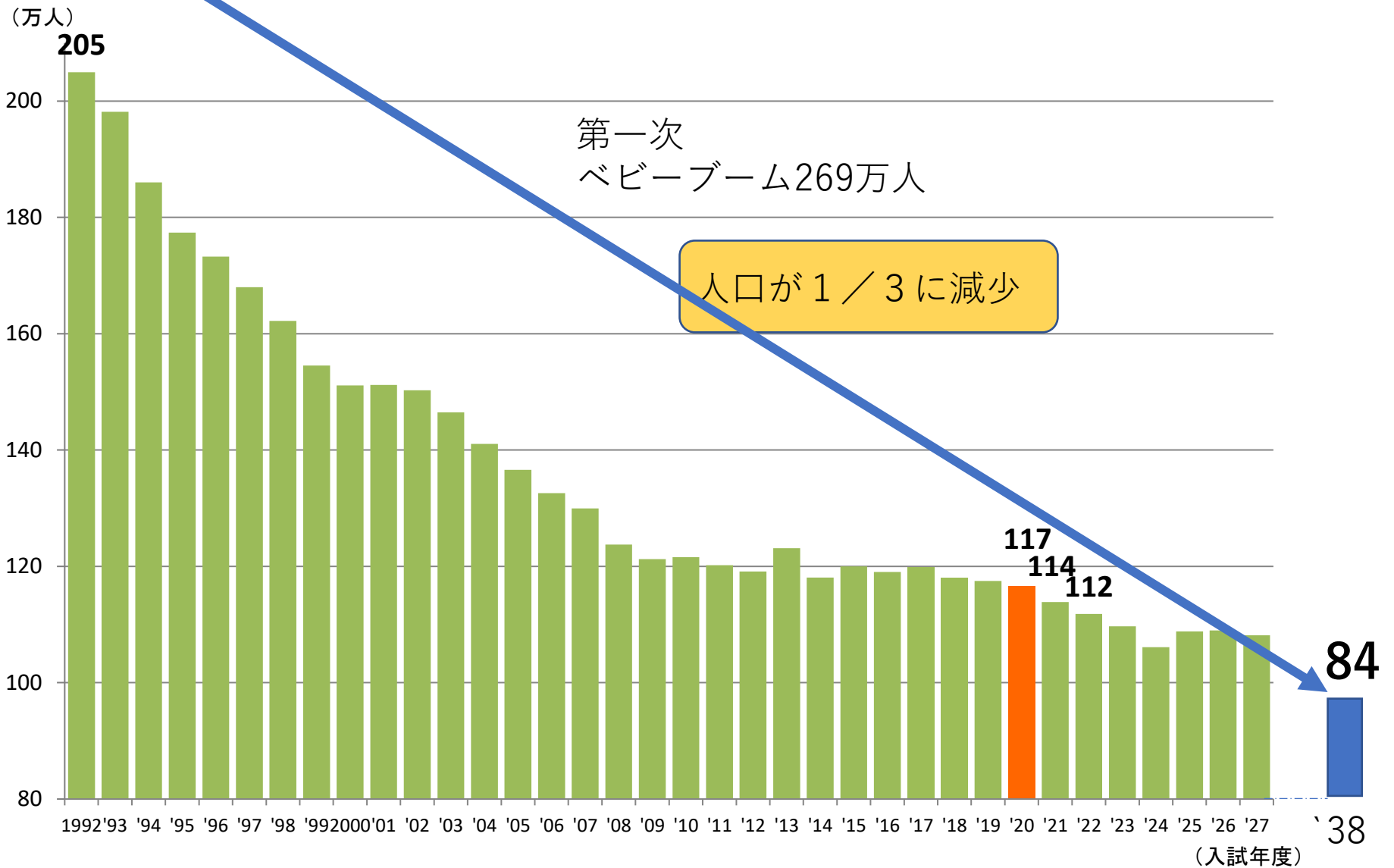
世界水準の 人材育成に向けて

千代田国際中
武蔵野大学附属千代田高
武蔵野大学中高 中高学園長
活育教育財団 理事

日野田直彦

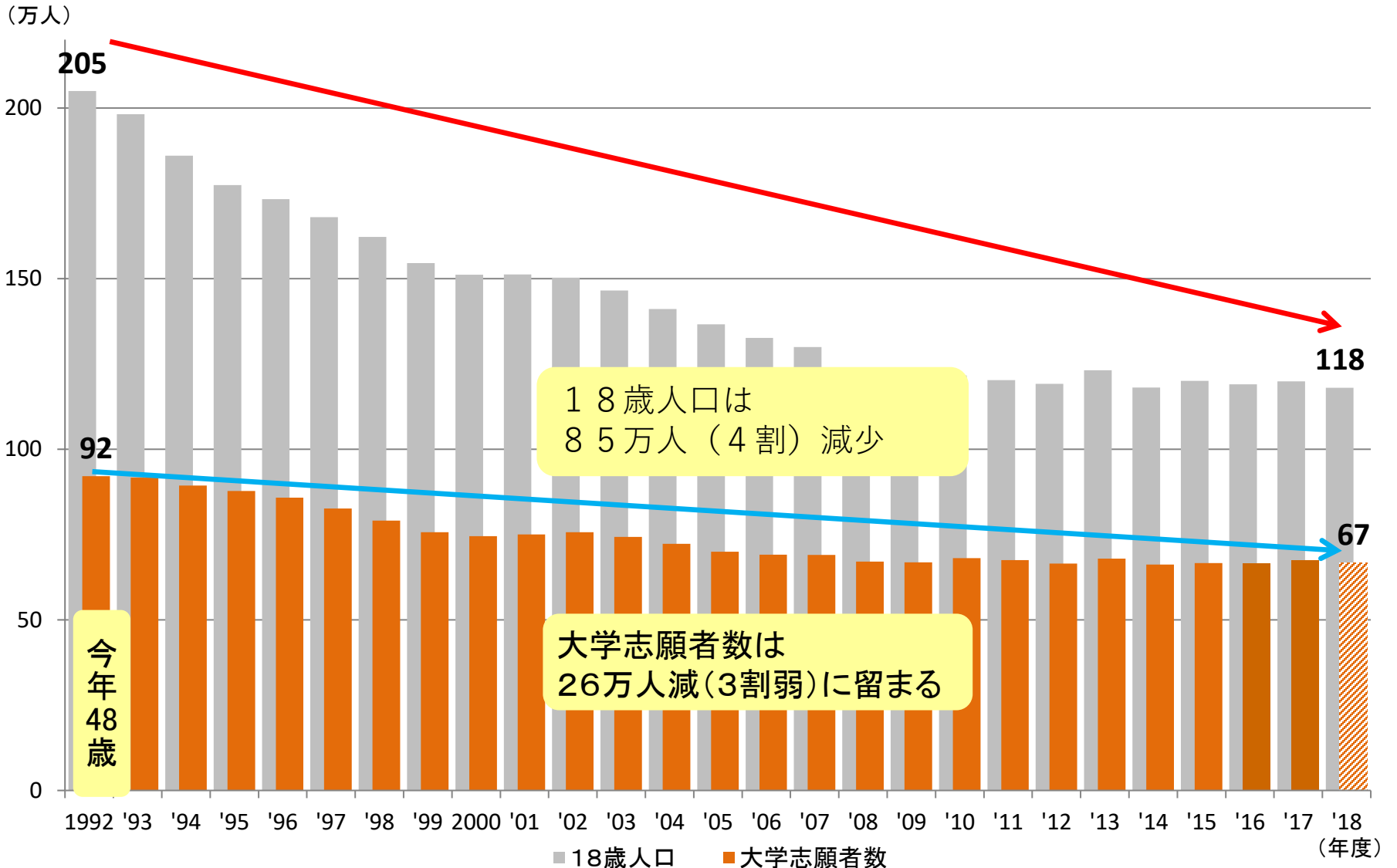
日本の学校の現状

18歳人口の推移



内閣府統計局などより作成

大学志願者数の推移



大学数の変化

年度	大学数	国立	公立	私立	私立の割合
1992	523	98	41	384	73.4%



18歳人口 211万人
↓
114万人

2021	803	86	98	619	77.1%
------	-----	----	----	-----	-------

公立・私立の学校数比較

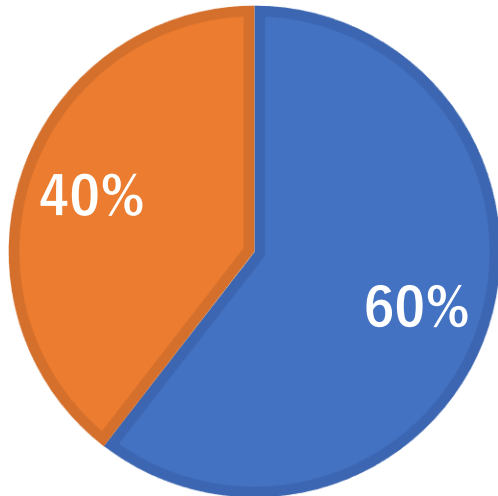
校種	学校数	国立	公立	私立	私立の割合
幼稚園	9,420	49	3,103	6,268	66.5
こども園	6,268	-	862	5,406	86.2
小学校	19,336	67	19,028	241	1.2
中学校	10,076	68	9,230	778	7.7
高校	4,856	15	3,521	1,320	27.1
大学	803	86	98	619	77.1

文科省『令和3年度 学校基本調査』より作成

私立学校の財務状況

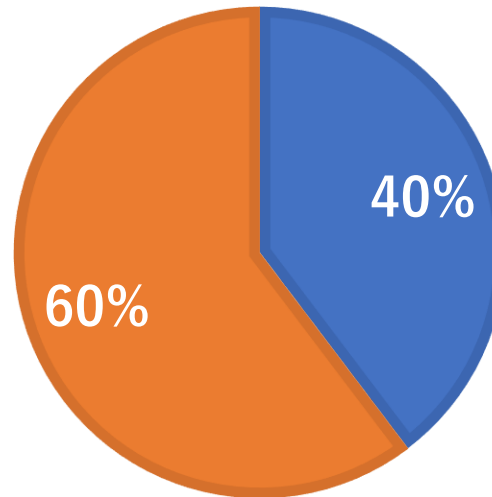
大学

■ 黒字法人 ■ 赤字法人



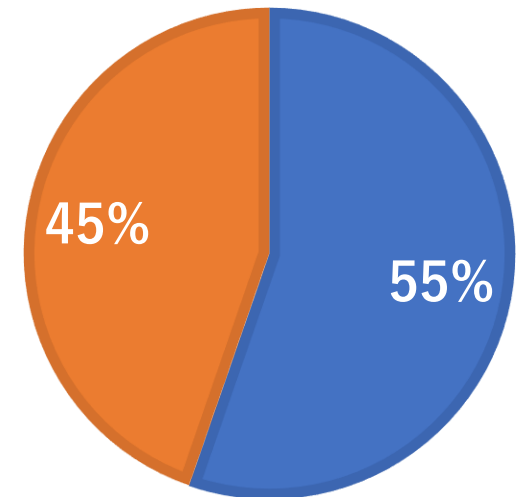
短期大学

■ 黒字法人 ■ 赤字法人



高校

■ 黒字法人 ■ 赤字法人



※ただし、私学助成金が
大学・短大：全収入の約25%
高校：全収入の約35%程度 補填されている

教育の国際化と インターナショナルスクール

インターナショナルスクールの変化

	バブル前	バブル後
ターゲット	外資系駐在員のみ	外資系駐在員から日本の富裕層
学校	老舗インターナショナルスクール ・西町 ・セントメリーズ ・ASIJ	老舗+新興の参画 ・ISAK（一条校） ・英国系パブリックスクール ・民族系（インド・中国）学校
カリキュラム	アメリカ系、イギリス系	UWC、国際バカロレア、AP、A-Level
学費	200~300万円	200~1000万円超



日本的一条校からも海外進学をめざせる学校の登場

- ・渋谷教育学園渋谷、幕張
- ・洗足学園
- ・広尾学園
- ・三田国際
- ・武蔵野大学中高
- ・武蔵野附属千代田高（千代田国際中）

国際マーケットにおける日本の魅力

Harvard大学
インターナショナル生

世界全体
809名

日本人
14名

参考

- ・中国 : 70名
- ・ドイツ : 41名
- ・オーストラリア : 37名
- ・ブラジル : 26名
- ・韓国 : 20名
- ・トルコ : 19名
- ・ルーマニア : 13名
- ・ケニア : 12名
- ・ネパール : 6名



「もっと、日本人（一条校）が来てほしい」

Harvard International Office
(<https://www.hio.harvard.edu/statistics>) より引用

日本と世界の学校のメリット・デメリット

	日本の学校	インターナショナル スクール	新興型の学校 • GreenSchool • Thik Global School • High Tech High など
メリット	均質な授業 リテラシー重視 守破離を学べる 学費が安い	自由度が高い 研究やリサーチ重視 英語力が伸びる 多様性を理解できる 主体性の育成	高度な研究 新しい挑戦 先進的なマインド 多くのチャレンジ
デメリット	自由度が低い リサーチ力が低い 英語力が伸びない 多様性/主体性がない 部活動が負担	ほったらかし 守破離が欠落 リテラシーが弱い 品質管理にブレ 学費が高い	実証性がない 教育の質の担保 「学校」として 認証されていない 学費が高い

アジアにおける教育現場

- 中国 : インターナショナルスクールの新規設立の禁止
教育系オンラインサービスの国営化
- 韓国 : 就業率の低下と失業率の上昇
- 台湾 : 超少子高齢化と就職難
- 東南アジア : 学校のパッケージ化ができていない
人口増に対して、1960年代型のアジア教育



現状の課題

世界のインターナショナルスクールの現状

例：ISB（タイの老舗）学費：500万～1000万
寮費：300万～500万



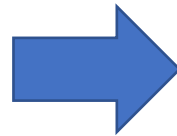
アッパーミドルが通わせられる学校がない。

今後の学校政策の未来

日本の「中立性」と「地政学的緩衝地帯」

中立性

- 宗教
 - 民族 に対する
 - 言語 差別が少ない
- +
- 植民地宗主国の色が薄い



地政学的緩衝地帯

- 列強に挟まれた「線」
- 様々な若者が集まる「混沌」
- 充実したインフラと「安全地帯」

イノベーションが
起こる条件が整いつつある

- 安全にチャレンジができる
- 人口規模と生産拠点がある
- 課題先進国である

足りない要素

- 投資家への税制優遇
- 教育の充実（+中高生の留学ビザの発給要件）
- ハイアッパー向けのサービス

日本を「世界の若者のHometown」にしていく

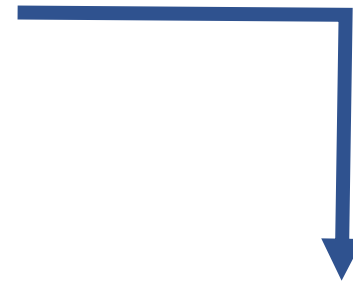
公立・私立学校の「選択と集中」

公立学校の限界

- 学校設備の老朽化（65%=30,000校が50年越）
- 学校管理費の少なさ（私学1億⇔公立0.1億）
- 教員の労務

私立学校の課題

- 都市部と地方の格差
- PL/BS（生徒募集）と説明責任
- 新規開設校の事実上の「停止」



解決策

- 学校再生を専門とした機関・団体・企業の設立
- 公設民営学校（アメリカ・オランダなど）の設置（民営化）
- 移民対応型の学校の設立（ESLの設定含む）

→ 『学校を再定義する』 ことも視野に入れる

世界で要求される人材像

- Diversity (異質なものを受容する力)
- Contribution (人類への貢献)
- Connection (人・考えを公平につなぐ)

+

他ではできない経験をしてきたこと
それを背景とした「哲学」

→日本は希少性が高い
「日本人」「日本で育った」は
強力な『強み』となっている

アメリカのトップ大学における選考ステップ

- 1、地域・国による配分
- 2、生徒の性別・言語・宗教
- 3、その生徒にしかない独自性
- 4、学力（GPA・SAT・TOEFL）

例：Ivy League

GPA : 4.5 / 5
TOEFL : 100
SAT : 1350 / 1600



GPA : 4.2 / 5
TOEFL : 80
SAT : 1250

※日本の一条校の場合

備考：高校ランキング

偏差値

- 開成
- 麻布
- 筑駒
- 灘
- 東大寺
- 女子学院
- 桜蔭
- 雙葉

+

海外（特にアメリカ）

- 渋渋、渋幕
- 洗足
- 広尾
- 三田国際
- 武蔵野大高
- 武蔵野大学附千代田
- 箕面
- 立命館宇治
- 同志社国際
- 千里国際
- 東京学芸国際
- 都立国際
- 加藤学園暁秀

世界水準の 人材育成に向けて

千代田国際中
武蔵野大学附属千代田高
武蔵野大学中高 中高学園長
活育教育財団 理事

日野田直彦